

秋の味覚お待たせ

「蓮台寺柿」登場
伝統の味どうぞ

三重・JA伊勢

【三重・伊勢】伊勢

市藤里町にあるJA伊勢蓮台寺柿共同選果場で25日、伊勢市の天然記念物「蓮台寺柿」の出荷が始まった。選果場では担当者が「蓮台寺柿」を一つずつ手に取って形や傷の有無を確認し、大きさに別箱詰めした。今年産の出荷は11月中旬まで続く。

初出荷に先立つ23日には目ざろえ会を開いた。部会員、同JAや県中央農業改良普及センター、市場の担当者ら約40人が選果の規格

を確認した。

同部会では、生産者38人が約15分で「蓮台寺柿」を栽培する。

「蓮台寺柿」は、伊勢神宮のお膝元である同市で350年ほど前から栽培する歴史のある柿。「みえの



伝統果実」や、県内の個性的でビジネス価値のある農林水産資源として「三重のバイオトレジャー」に選ばれるなど市場や消費者からの評判は高

色や大きさを確認しながら選果を行う作業員ら(26日、三重県伊勢市で)

い。
同JA担当者は「蓮台寺柿は歴史のある柿。食べたことがない人にも、ぜひ味わってもらいたい」と話した。